

# 組合員・職員ときめき交流会

3月9日(土)シマブンホールにて組合員・職員ときめき交流会を開催しました。

ろっこう医療生協・こうべ保健サービス・NPO法人 花たばの職員があわせて78名、組合員が69名。合計147名で盛大に交流しました。

加藤理事と平木職員の両実行委員長の開会の挨拶があり、交流会をスタート。あおぞらの水金さんが所属する「ビタミンQ」のグラシックギターの音色をバックに和やかに昼食をとりました。



学習講演として、小西副理事長が『北欧の福祉を学ぶ』、神戸日赤の並木医師から『救急救命センターの役割』と題した講演をいただきました。

小西副理事長からは北欧の高福祉を実現した社会の仕組みをご紹介いただきました。並木医師からは、私たちの備えとしてAEDの有効性を、そして救命救急の病院がどのように機能しているのかという内容のお話をいただきました。



実行委員長の加藤理事(左)と平木職員(右)すばらしい演奏を聴かせてくれたビタミンQのみなさん



講演いただいた神戸日赤の並木先生



組合員と職員が1つのテーブルを囲んで交流

ときめきタイムとして各テーブルごとに自己紹介、血液型を話題に交流しました。

その後、各活動発表として以下の6本の発表がありました。

- ・灘中央支部  
『たまり場づくりのとりくみ』
- ・西郷支部  
『助けあい話し合い隣三軒両隣』
- ・3診療所  
『高齢者にやさしい診療所取り組みと報告』
- ・あおぞら  
『最期までその人らしく・・・』
- ・花たば  
『コミュニティハウスの入居者とサークル活動』
- ・灘診療所  
『ABC 検診について』



発表いただいたみなさん